

## 全国学力学習状況調査の結果と今後の取り組みについて

今年の4月19日に実施された標記調査についてお知らせいたします。調査については学校の傾向としてとらえ、今回の調査結果を生かしながら、全校での取り組みを考えていきます。

### ◇本校の今年度の全国学力学習状況調査結果

国語 A…全国平均と同程度。国語 B…全国平均よりとても低い。算数 A…全国平均よりとても低い。算数 B…全国平均よりとても低い。

(5%以上…とても高い低い、3~5%未満…高い低い、1~3%…やや高い低い、1%未満・・・同程度)

### ◇分析とこれからの取り組み

#### ★学力状況調査

##### 成果

- 漢字の読み書きについて定着が見られた。
- 基礎計算の正答率が高く、計算能力の向上が見られた。
- 図形の知識・技能の定着が高い。

##### 課題

- 自分の考えを書いたり、内容を整理して書いたりする力に課題がある。
- 数学的な考え方の問題で正答率が低い傾向にある。
- 論理立てて回答する問題で正答率が低い傾向にある。

漢字の読み書き、基礎計算などの基礎学力の定着は見られました。これは、本校で取り組んでいる「基礎力診断テスト」「スタディータイム（放課後学習）」「自学ノート」などの成果であると考えられます。しかし課題として、内容を整理する力や論理的に順序だてて考える力、身につけて基礎学力を活用して問題解決に当たる力の育成が挙げられます。各教科で身に付けた力を活用して問題を解決する場の設定、言語活動の充実や数学的な活動の重視、単位時間のまとめの時間の確保、考える力を鍛える教材の提示などの授業改善が必要であると考えられます。

#### 【今後の学校の取り組みとしては・・・】

- ①基礎・基本となる学習の充実は今までどおり行う。（基礎力診断テストやスキルの活用、放課後学習の取り組み）
- ②教科等で言語活動の充実を図る授業。（ペア学習、グループ学習、説明、意見交流など）
- ③思考の流れが明確となる板書の工夫。
- ④学習のまとめの時間の確保。
- ④チャレンジテストの有効活用（家庭学習、放課後学習での活用も）
- ⑤全国学力テストの問題の有効活用（授業、家庭学習、放課後学習での活用）

## ★児童質問紙から

- 生活習慣（「朝食を毎日食べていますか」、「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」）の項目では全国平均を上回っていた。
- テレビやビデオ・DVDを見る時間は全国平均よりも10%ほど低い。
- 毎日新聞を読んでいる割合が全国平均よりも25%ほど高い。
- 学校が休みのときの学習時間は全国平均と同程度。
- メディア（ゲーム、携帯電話、メール、インターネット）などに費やす時間が全国平均より20%ほど高い。
- 平日2時間以上家庭で学習に取り組んでいる児童の割合が全国平均より15%ほど低い。

「朝食を毎日食べていますか」「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」の項目で全国平均を上回っております。ご家庭できちんと指導されていることが伺えます。

メディア関係では、テレビ・ビデオ・DVDを見る時間は全国平均よりも少ないものの、その時間がそのままゲームや携帯電話・スマートフォンなどの時間につかわれている傾向にあることがわかりました。ゲームや携帯電話・スマートフォンなどの使い方やルールなどご家庭でも話し合っただければと思います。別海町では『スイッチOFF22』メディア機器を夜の10時には切る取組みをしていますし、本校ではそれより1時間早い『スイッチOFF21』に取り組んでいます。

家庭学習では、平日の家庭での学習の時間は全国平均より少ないですが、休日の家庭での学習の時間は多いです。学年×10分+10分を意識して学習に取り組むように指導していきます。

### 【今後の学校の取り組みとしては・・・】

- ①『スイッチOFF21』の啓発、継続的な指導。
- ②家庭学習（宿題・自学）の継続指導。（学年×10分+10分）

※ご家庭でのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。